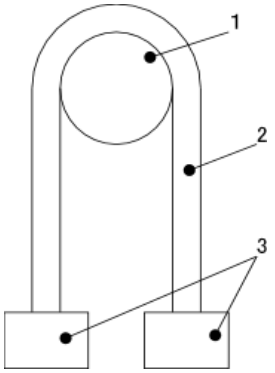

1 マンドレル
2 試料
3 おもり

図 10—耐熱試験 1A 装置

表 7—耐熱試験 1A の装置

公称導体断面積 mm^2	マンドレルの径 mm	おもりの質量 g
0.3 以上 0.85 以下	115	450
1.0 以上 1.25 以下	165	
1.5 以上 3 以下		1 350
4 以上 8 以下	255	
10 以上 40 以下		2 700
50 以上 100 以下		4 500

5.8.2 耐熱試験 1B

5.8.2.1 試料

電線から長さ約 600 mm の試料を採取し，両端の絶縁体を約 25 mm はぎ取る。

5.8.2.2 装置

装置は，老化槽並びに**表 8** に示すマンドレル~~及びおもり~~を用いる。

5.8.2.3 手順

表 8 に規定する温度の老化槽内で規定の時間加熱した後，室温になるまで放冷し，**表 8** に規定するマンドレルに 3 回巻き付け，絶縁体表面のクラック発生など異常の有無を調べる。

なお，その後に **5.2.2** の耐電圧試験を行う。ただし，**5.2.2** で規定する手順に，次の変更を加える。

— 電圧を加える前に，試料を塩水に浸す時間を 10 分間とする。

— 1 kV（rms）の電圧を 1 分間加える（その後，電圧の上昇を行わない）。